

# BUSINESS REPORT

## 第4期 中間事業報告書

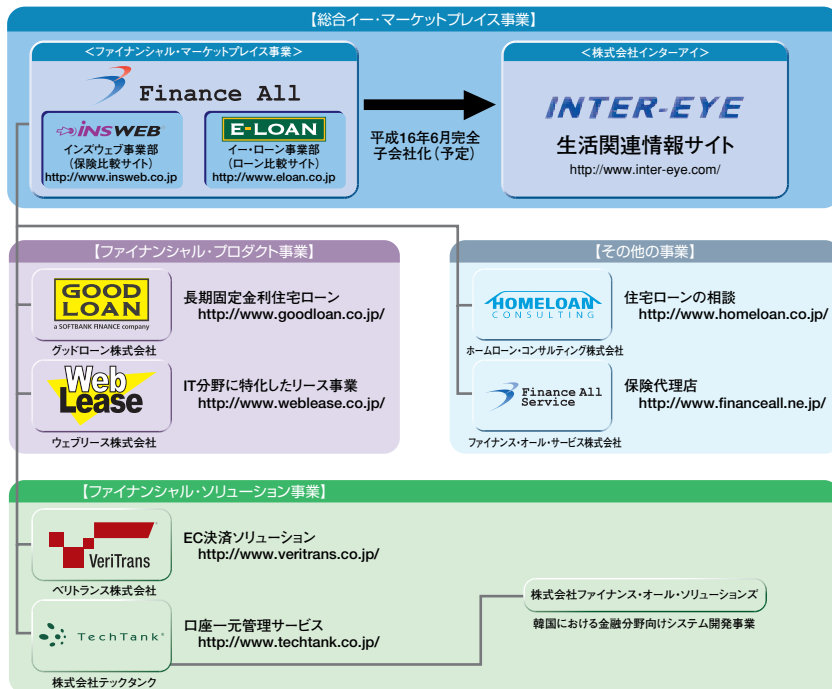
(平成15年10月1日～平成16年3月31日)



**Finance All**

ファイナンス・オール株式会社

# ファイナンス・オール グループ



## 目次

ごあいさつ	1
経営方針	2・3
中間連結財務ハイライト	4・5
中間連結財務諸表(要約)	6・7
中間単体財務諸表(要約)	8
会社の概況	9

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

また平素は、当社事業に格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社第4期中間期（平成15年10月1日から平成16年3月31日）の事業報告書をお届けするにあたり、皆様へ一言ご挨拶を申し上げます。

当中間期におきましては、わが国経済にも回復傾向が見られるなか、当社におきましても、「ファイナンシャル・マーケットプレイス事業」、「ファイナンシャル・プロダクト事業」とともに大きく業績を伸長させるに至りました。

まず、ファイナンシャル・マーケットプレイス事業に属します保険の比較サイト「インズウェブ」とローン商品の比較サイト「イー・ローン」は、ともに取引数を順調に拡大し、業績伸長に貢献いたしました。

また、ファイナンシャル・プロダクト事業におきましては、子会社ウェブリース株式会社が、IT分野へのリースを引き続き拡大した他、子会社グッドローン株式会社が、従来1種類だった住宅ローンに新たに35種類のパターンを導入し商品の多様化を図ったことと、ヤフーBB会員及びヤフープレミアム会員向けに行った金利優遇キャンペーンが成功したことにより、大きく取扱実行件数を伸ばし、平成16年3月末で融資残高を294億円と致しました。

更に、当中間期におきましては、新たに株式会社テックタンク、ペリトランス株式会社を子会社化し、これら2社の属するセグメントとして「ファイナンシャル・ソリューション事業」を新設いたしました。

株式会社テックタンクは複数の金融機関の口座を一括して表示できるいわゆるアカウントアグリゲーションサービスを提供し、またペリトランス株式会社は、EC（電子商取引）事業者向けにクレジットカード決済等のインターネット上の決済ソリューションを提供しており、いずれも既存事業同様、消費者及び事業者にとって利便性をもたらすサービスとして、利用数を大幅に伸ばしております。

当社は、今後とも、既存事業の更なる強化に加え、利用者に利便性の高い新規事業への積極的な取り組みを行っていくことで、企業収益の向上ひいては企業価値拡大を図って参りたいと存じます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 COO

**伊藤 雅仁**





# 経営方針

## ■ 当社の経営理念

当社は設立以来、「IT技術の積極活用」、「最先端金融手法の駆使」により、従来の金融業界にはないサービスを提供する金融イノベーターとして、最大限の顧客満足を実現すると同時にわが国の金融業界の活性化・発展に寄与するという経営理念の下、順調に業容を拡大させて参りました。今後も更なる事業拡大を効率的に推進し、安定した収益を確保するために、以下の課題に重点を置いて対処していく所存であります。

## ■ 今後の事業戦略

当社は設立以来、上記の経営理念の下、順調に業容を拡大させて参りました。現在は事業持株会社として自社で事業を行うと同時に、完全子会社としてグッドローン株式会社、ウェブリース株式会社、株式会社テックタンク、ベリトランス株式会社、ファイナンス・オール・サービス株式会社、ホームローン・コンサルティング株式会社（イー・ローン・ダイレクト株式会社より商号変更）を有し、ファイナンス・オールグループを成しております。

今後も更なる事業拡大を効率的に推進し、安定した収益を確保して参ります。具体的な戦略の指針は以下のとおりであります。

### (1) 主要事業の増強及び新規事業への進出

#### 【ファイナンシャル・マーケットプレイス事業】

インウェブ事業においては、顧客層の開拓、取引件数の増加を図るため集客力のあるヤフー、インフォシークなど国内の大手ポータルサイトとの提携を積極的に進めて参りました。今後より一層の取引件数増加を図るため、ECサイトや中小サイトなどとの提携も進めていくほか、既に当社のサイトで見積もり請求を行った顧客に対しメール配信等によるリピート率の向上を徹底していきたいと考えております。イー・ローン事業においては、プロモーション活動を一層強化するとともに、新たにモバイルサービスをスタートするなど多様なチャネルを開拓し、取引件数の増加を促進したいと考えております。また、今後については本事業で培ってきた経験や情報提供ノウハウを、金融分野に限らず、幅広く生活関連情報サービス全般に活用することで、インターネットを通じた生活関連情報サービス全般におよぶ総合イー・マーケットプレイス事業を展望しており、その布石として生活関連情報一括見積もりサイトを運営する株式会社インターアイを平成16年6月に子会社化することを決議しております。今後様々な生活関連情報提供サービスを追加・拡充することで、インターネット上の財・サービスの流れと金融事業との融合による新たな収益機会を追求していきたいと考えております。

#### 【ファイナンシャル・プロダクト事業】

子会社グッドローン株式会社が運営する住宅ローン事業においては、主要な販売チャネルであるインターネットを徹底活用し、効率的なネットプロモーションを進めていくことにより、一層の顧客獲得を目指して参ります。また、平成16年1月に住宅ローン実行時に支払う事務手数料によって借入れの表示金利が変動するディスカウントポイント方式を採用した新商品を開発し、好評を博して参りましたが、引き続き顧客ニーズに柔軟に対応るべく今後も商品の多様化を図って参ります。更に、子会社ウェブリース株式会社が運営するリース事業においては、ブロードバンドの普及に伴い急速に成長しつつある、ブロードバンド・コンテンツ事業者（オンラインゲーム、BBケーブルTV等）へのリース取り組みを強化していきたいと考えております。

#### 【ファイナンシャル・ソリューション事業】

子会社株式会社テックタンクは、個人が銀行や証券などのオンラインサービスを利用するため

---

---

に有する複数のサイトのID、パスワードを一括で管理できるアカウントアグリゲーション（口座一元管理）ソフト「MoneyLook」を提供しております。アカウントアグリゲーションサービスは、ペイオフの解禁やインターネットによる株式取引をする個人投資家の増加などを背景に、個人が複数の金融機関に金融資産の分散するなかで全体資産を統合管理できるニーズの高まりに応えるものであります。今後も新規ライセンス先の開拓等を通じてMoneyLookを拡販して参ります。また、株式会社テックタンクはブロードバンド先進国である韓国の特に進んだ金融関連ITソリューション技術の一層の活用及び自社における集積を効率的に図るため、現地の有能な技術者を招きITソリューション会社「Finance All Solutions Co., Ltd.」を平成16年5月に韓国において設立しております。

子会社ベリトランス株式会社は、EC（電子商取引）事業者向けに、クレジットカードを利用した代金回収を行う際に必要となる様々な決済ソリューションを提供しており、クレジット決済を安全にかつ自動的に処理するためのシステムの提供とサポートを行う決済処理代行サービス「BuySmart<sup>®</sup>」シリーズや、クレジットカード各社との加盟店契約を一括代行する「クレジットオールインワン」といったEC事業者にとって利便性の高い決済ソリューションを提供しております。今後予想される中小規模でのモバイルコマースにおけるオンライン決済の需要増加に対応し、携帯電話でのオンラインクレジットカード決済の機能拡充を図るなど、積極的に取り組んで参りました。今後も引き続き、決済チャネルの多様化など、電子商取引における決済ソリューションに対するニーズに対し積極的に応えていきたいと考えております。

#### 【その他の事業】

上記の既存事業の増強に加え、住宅ローンの分野において、様々な金融機関が提供する住宅ローンを取り次ぐモーゲージ・ブローカー事業を立ち上げるなど、既存事業とのシナジー効果が期待できる新規事業を今後とも積極的に展開していきたいと考えております。

#### (2)ソフトバンク・グループ各社とのシナジーの強化

当社が属するソフトバンク・グループではブロードバンドインフラ事業のほか多くのIT関連事業を行っており、またソフトバンク・インベストメントグループでは、投資事業、証券事業等の様々な金融事業を展開しております。当社の事業は経営理念でも掲げているとおりITと最先端金融技術の融合による付加価値を生み出すことであり、IT業界の最先端をいくソフトバンク・グループや総合的な金融事業を展開するソフトバンク・インベストメントグループの企業とのリレーションは当社にとり非常に重要と考えております。現在、ソフトバンク・グループの各企業とは友好的な関係を築いておりますが、今後も更に友好的関係に基づくシナジーを強化していきたいと考えております。

#### (3)企業買収による事業基盤の強化

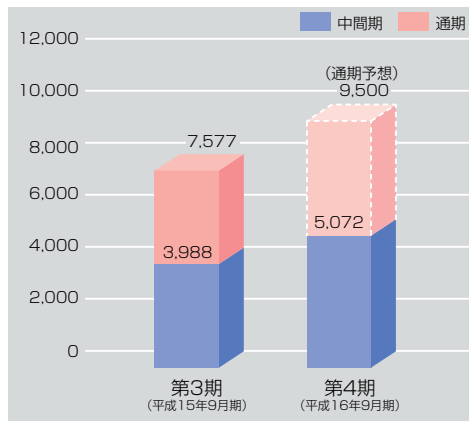
当社は、自らが飛躍的な企業成長を遂げる戦略的オプションとして企業買収は有効な経営手法と捉えており、新たな顧客層の開拓、新たなサービスの提供等、現在の事業とのシナジー効果が見込め、かつ、圧倒的な市場シェアの確保、有望な収益源の獲得など、当社に追加的な企業価値の創造をもたらすことが見込まれることを前提に、今後も企業買収については積極的に検討していきたいと考えております。



# 中間連結財務ハイライト

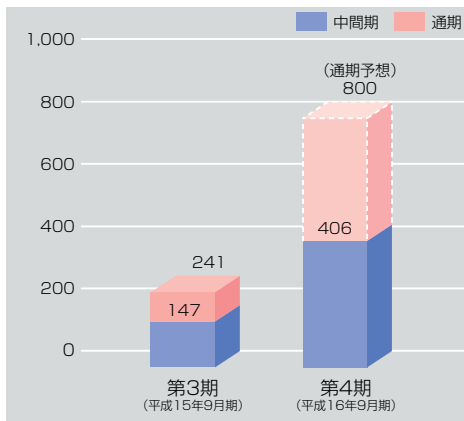
## 売上高

(単位：百万円)



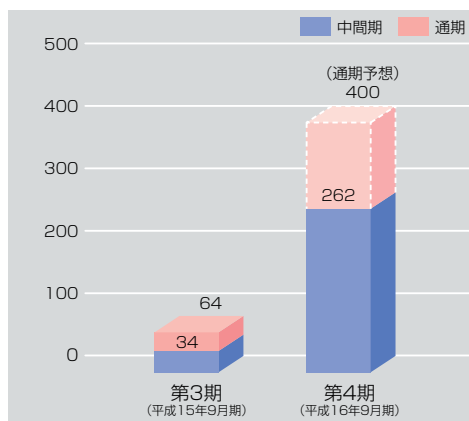
## 経常利益

(単位：百万円)



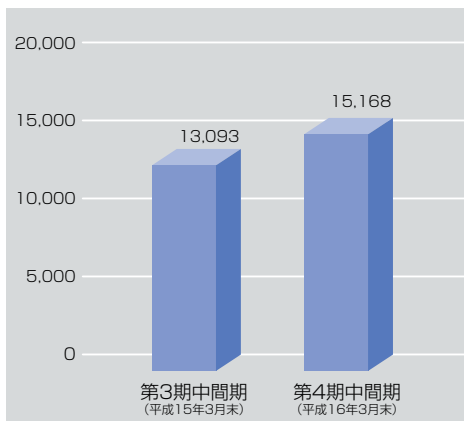
## 中間(当期)純利益

(単位：百万円)



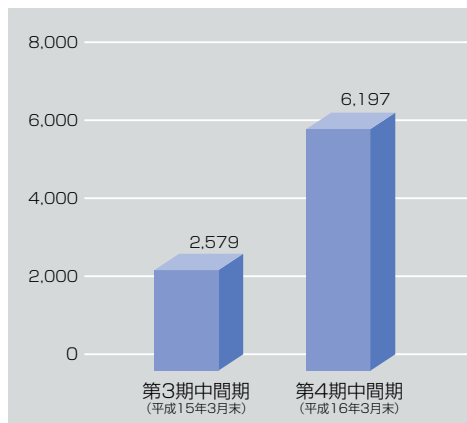
## 総資産

(単位：百万円)



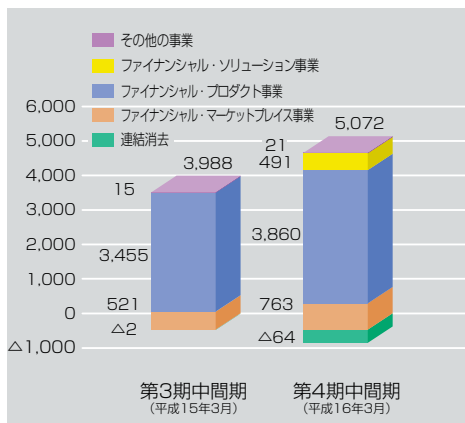
## ■ 純資産

(単位：百万円)



## ■ セグメント別売上高

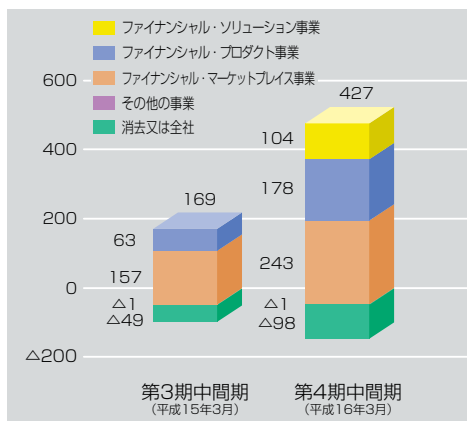
(単位：百万円)



(注) 単位未満は切り捨てて表示

## ■ セグメント別営業利益

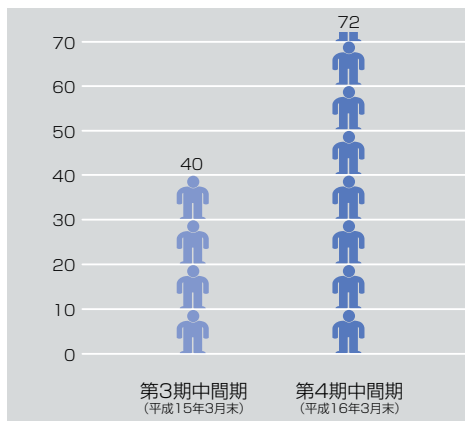
(単位：百万円)



(注) 単位未満は切り捨てて表示

## ■ 従業員数の推移

(単位：人)





# 中間連結財務諸表（要約）

## ■ 中間連結貸借対照表

（単位：千円）

科目	金額		
	前中間期 <small>（平成15年3月31日現在）</small>	当中間期 <small>（平成16年3月31日現在）</small>	前期 <small>（平成15年9月30日現在）</small>
	<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>			
現金及び預金	820,431	3,628,895	1,438,239
売掛金	256,526	452,086	329,613
割賦債権	242,803	143,724	194,396
その他	58,197	798,856	238,153
貸倒引当金 △	1,819	△ 12,934	△ 2,020
<b>流動資産合計</b>	<b>1,376,139</b>	<b>5,010,627</b>	<b>2,198,382</b>
<b>固定資産</b>			
<b>有形固定資産</b>			
賃貸資産	10,380,491	8,484,906	9,386,593
その他	74,500	94,157	66,528
<b>有形固定資産合計</b>	<b>10,454,992</b>	<b>8,579,064</b>	<b>9,453,122</b>
<b>無形固定資産</b>			
連結調整勘定	—	126,019	—
賃貸資産	527,782	581,067	621,076
その他	598,901	627,330	556,408
<b>無形固定資産合計</b>	<b>1,126,684</b>	<b>1,334,418</b>	<b>1,177,485</b>
投資その他の資産	134,601	205,516	184,542
<b>固定資産合計</b>	<b>11,716,277</b>	<b>10,118,999</b>	<b>10,815,149</b>
<b>繰延資産</b>	<b>1,008</b>	<b>38,414</b>	<b>22,116</b>
<b>資産合計</b>	<b>13,093,425</b>	<b>15,168,042</b>	<b>13,035,648</b>

科目	金額		
	前中間期 <small>（平成15年3月31日現在）</small>	当中間期 <small>（平成16年3月31日現在）</small>	前期 <small>（平成15年9月30日現在）</small>
	<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>			
買掛金	456,912	240,244	372,438
短期借入金	3,910,000	7,175,000	8,130,000
その他	710,457	1,147,111	814,084
<b>流動負債合計</b>	<b>5,077,369</b>	<b>8,562,356</b>	<b>9,316,522</b>
<b>固定負債</b>			
長期借入金	5,355,000	—	310,000
その他	81,083	2,601	81,050
<b>固定負債合計</b>	<b>5,436,083</b>	<b>2,601</b>	<b>391,050</b>
<b>負債合計</b>	<b>10,513,453</b>	<b>8,564,958</b>	<b>9,707,573</b>
	<b>少数株主持分</b>		
少数株主持分	—	405,444	—
	<b>資本の部</b>		
<b>資本金</b>	<b>1,112,000</b>	<b>2,670,006</b>	<b>1,367,000</b>
資本剰余金	1,368,000	3,134,674	1,830,600
利益剰余金	99,972	392,958	130,474
<b>資本合計</b>	<b>2,579,972</b>	<b>6,197,639</b>	<b>3,328,074</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>13,093,425</b>	<b>15,168,042</b>	<b>13,035,648</b>



## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額		
	前中間期 (自平成14年10月1日 至平成15年3月31日)	当中間期 (自平成15年10月1日 至平成16年3月31日)	前 期 (自平成14年10月1日 至平成15年9月30日)
売上高	3,988,881	5,072,425	7,577,577
売上原価	3,119,530	3,504,511	5,762,210
売上総利益	869,351	1,567,914	1,815,367
販売費及び一般管理費	699,804	1,140,270	1,517,947
営業利益	169,547	427,644	297,420
営業外収益	3,646	4,360	12,999
受取利息	46	837	49
その他	3,599	3,523	12,949
営業外費用	25,684	25,390	68,515
支払利息	15,614	14,869	26,582
新株発行費償却	1,475	10,397	12,406
その他	8,595	124	29,526
経常利益	147,509	406,614	241,903
特別利益	3,275	832	3,074
特別損失	5,535	8,442	5,535
税金等調整前中間(当期)純利益	145,249	399,004	239,443
法人税、住民税及び事業税	115,149	121,321	179,558
法人税等調整額	△ 4,088	△ 70,556	△ 4,805
少数株主利益	—	85,755	—
中間(当期)純利益	34,188	262,483	64,690

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	金 額		
	前中間期 (自平成14年10月1日 至平成15年3月31日)	当中間期 (自平成15年10月1日 至平成16年3月31日)	前 期 (自平成14年10月1日 至平成15年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,606,857	1,361,891	3,372,246
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 155,564	△ 55,568	△ 185,781
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,775,000	1,292,558	△ 2,892,363
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△ 68	—
現金及び現金同等物の増減額	△ 323,707	2,598,812	294,100
現金及び現金同等物の期首残高	1,144,139	1,438,239	1,144,139
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	820,431	4,037,052	1,438,239



# 中間単体財務諸表（要約）

## ■ 中間貸借対照表

（単位：千円）

科目	金額		
	前中間期 <small>（平成15年3月31日現在）</small>	当中間期 <small>（平成16年3月31日現在）</small>	前期 <small>（平成15年9月30日現在）</small>
	<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>			
現金及び預金	481,345	2,408,754	614,682
売掛金	120,010	203,521	138,547
関係会社短期貸付金	1,325,000	3,960,000	1,110,000
その他	13,271	15,410	23,114
流動資産合計	1,939,626	6,587,686	1,886,344
<b>固定資産</b>			
有形固定資産	20,736	14,467	21,670
無形固定資産	204,093	176,541	210,711
投資その他の資産	1,562,234	2,070,457	1,541,004
固定資産合計	1,787,064	2,261,466	1,773,386
繰延資産	—	37,910	21,359
資産合計	3,726,690	8,887,063	3,681,090
	<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	1,025,423	2,757,513	233,954
<b>固定負債</b>	99	66	66
負債合計	1,025,523	2,757,580	234,021
	<b>資本の部</b>		
<b>資本金</b>	1,112,000	2,670,006	1,367,000
<b>資本剰余金</b>	1,391,678	3,158,352	1,854,278
<b>利益剰余金</b>	197,489	301,123	225,790
資本合計	2,701,167	6,129,482	3,447,069
負債及び資本合計	3,726,690	8,887,063	3,681,090

## ■ 中間損益計算書

（単位：千円）

科目	金額		
	前中間期 <small>（自平成14年10月1日 至平成15年3月31日）</small>	当中間期 <small>（自平成15年10月1日 至平成16年3月31日）</small>	前期 <small>（自平成14年10月1日 至平成15年9月30日）</small>
売上高	171,820	774,103	760,674
売上原価	—	—	—
売上総利益	171,820	774,103	760,674
販売費及び一般管理費	140,360	646,240	659,291
営業利益	31,459	127,863	101,382
営業外収益	26,679	31,404	45,897
営業外費用	17,986	23,879	55,405
経常利益	40,153	135,388	91,875
税引前中間(当期)純利益	40,153	131,112	91,875
法人税、住民税及び事業税	13,583	51,179	38,804
法人税等調整額	2,359	4,599	558
中間(当期)純利益	24,210	75,332	52,512
前期繰越利益	28,711	223,084	28,711
合併引継未処分利益	141,154	—	141,154
中間(当期)未処分利益	194,076	298,417	222,378



# 会社の概況

## ■ 会社概要 (平成16年3月31日現在)

商 号 ファイナンス・オール株式会社

英文商号 Finance All Corporation

設 立 平成13年3月28日

資 本 金 2,670百万円

所 在 地 東京都港区六本木一丁目6番1号 泉ガーデンタワー20階

従 業 員 数 72名 (連結)

## ■ 役 員 (平成16年3月31日現在)

代表取締役COO 伊 藤 雅 仁

代表取締役CEO 北 尾 吉 孝

取 締 役CFO 城 戸 博 雅

取 締 役 円 山 法 昭

取 締 役 松 井 真 治

常 勤 監 査 役 島 本 龍 次 郎

監 査 役 平 林 謙 一

監 査 役 藤 井 厚 司

監 査 役 西 本 圭 吾

## ■ 株主メモ

決 算 期	9月30日
利益配当金受領株主確定日	9月30日
中間配当金受領株主確定日	3月31日
定 時 株 主 総 会	毎年12月
名 義 書 換 代 理 人	UFJ信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 所	UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 03-5683-5111
同 取 次 所	UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
上 場 証 券 取 引 所	大阪証券取引所
公 告 掲 載 紙	日本経済新聞

(当社は決算公告に代えて、貸借対照表ならびに損益計算書を当社  
のホームページ《<http://www.financeall.jp/>》に掲載致しております。)

### ○株式に関するお手続き用紙のご請求について

株式に関するお手続き用紙（届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未滿株式又は端株買取請求書、名義書換請求書等）書類のご請求につきましては、上記名義書換代理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

0120-24-4479（本店証券代行部）  
0120-68-4479（大阪支店証券代行部）

通話料無料

インターネットアドレス <http://www.ufjtrustbank.co.jp/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。